

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前比で110%になっている。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・せり鍋を求めて来店する県外客が多くなっている。ただし、せり鍋だけを食べて帰る客が多いため、来客数は多いものの売上はそれに比例していない。
	◎	観光名所（職員）	来客数の動き	・今年で3年目となった鉄道会社の特別企画乗車券を利用した客が多い。施設の認知度が高まったためか利用期間の初日から来場者が多かった。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年を割っているが、販売量は前年を上回り、買上点数も増加している。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・当店は商店街に面しているが、一時期と比べて人出が多いようにみえる。
	○	百貨店（企画担当）	単価の動き	・来客数は減少傾向が続いているものの、値上げ前の駆け込み需要等が影響し、客単価は上昇傾向にある。
	○	百貨店（従業員）	お客様の様子	・全体的に節約志向に変化はないが、欲しいものには金を掛けるといったメリハリ購買がみられ、買上客数も増加傾向にある。
	○	百貨店（経営者）	来客数の動き	・天候が落ち着き、来客数、単価共に良くなっている。
	○	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数が増加し、売上も比例して伸びている。
	○	スーパー（店長）	お客様の様子	・客単価が前年より伸びている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・本部施策の効果が売上増加につながっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今年になり値上げの影響が落ち着いてきたのか、来客数の増加に伴って売上が前年比で改善している。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車や特別仕様車などのお買い得車の販売量は少ないものの、受注台数は計画どおり順調に推移している。
	○	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・決算期ということもあり来客数が増えており、販売数も比例して増加している。
	○	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・車両生産が回復してきたため、新車、中古車共に登録台数が数か月ぶりに前年を超えている。安定生産には程遠いが良い兆しである。
	○	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・記録的な低温と豪雪の影響により、バスも鉄道も数日運休するような状態だった。除排雪に関連する事業所はかなり潤った様子である。また、重機の給油のほか家庭用暖房機用の灯油の消費量が増え、出荷量もしばらくみられなかったほど多いとのことである。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は前年より良くなっている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インバウンドは東南アジア圏を中心に増加している。
	○	通信会社（社会貢献担当）	来客数の動き	・新生活需要に伴う来店がみられる。
	○	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・販売時の話合いや提案に対する客の納得度が高まっている。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比較して取引先からの受注量が増加している。	
○	観光名所（職員）	来客数の動き	・以前は振り客の大半をインバウンドが占めていたが、ここに来て日本人も少しずつ増え始めている。今まで抑えられていた消費が少しずつ動き出している。土産品もよく動いている。	
○	ゴルフ場（支配人）	競争相手の様子	・業界内で若年層の新規顧客が増えている。	
○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・販売量、単価、粗利共に好調を維持している。	

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	お客様の様子	・衆議院選挙の結果を受けて消費税の減税等が実施されるとしても先のことであり、身の回りの景気に変化はない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・2月は祝日が2回あったが、売上、来客数共に前年の半分に落ち込んでいる。観光客が減少し、特に中国からのインバウンドがほとんどいないことも原因の1つとなっている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・商品の動きがほとんどなく、仕立ての予約もない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営者）	販売量の動き	・貴金属など高額商品で値上げ前の需要があり、ブランド商品が全体売上を押し上げている。一方、物価高の影響による買い控えが特にファッション領域で顕著に出ている。春商戦のニーズも遅れている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	単価の動き	・2月の1品平均単価は前月と同水準で、前年比も3%強となっている。豪雪地域で買いだめ行為が一部みられたものの消費者の財布のひもは依然固く、来客数は横ばい、買上点数は前年割れがやや拡大傾向にある。最低賃金引上げや株価高騰の影響による消費拡大に期待したが、様子見の状況が続き、消費の動向は芳しくない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・ご飯の値上げで総菜は苦戦しているが、みかんが好調で総菜の売上減少分をカバーしており、全体の売上は前年並みで推移している。グロサリーでは好品の酒が売れていない。こちらは物価高の影響とみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は前年比100%で推移している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・物価高が続き、消費者は店を使い分けており、スーパーよりもディスカウントストアやドラッグストアなどの利用者が増えているように見える。スーパーでは値引き時間に合わせて来店する客が増えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・買上点数は横ばいとなっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	販売量の動き	・販売量の落ち込みが続いており、回復の兆しがみえない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	来客数の動き	・物価高の影響により、外食から内食へと需要が移行している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・中国以外の国からのインバウンドは減っていない。また、夜間の人の動きが良くなっているため、全体的に好調を維持している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・おにぎりが50円以上値上がりしているなど米が使われている商品を中心に価格がかなり上がっている。粗利の大きい主力商品の売行きが悪くなっているため、売上が落ちている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候要因による来客数への影響は少なくなっている。季節トレンドを加味しても来客数は変わらない状況である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・年度末に向け、企業や学校の制服や記念品の受注が増加しており、予算は達成している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・冬物セールをしている間は必要な商品を値頃に購入したいとする客もいて盛り上がった。しかし、春物商材に切り替わってからは天候や気温に振り回され、需要は不安定である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・入学式や入社式向けのスーツ需要が前年よりも大幅に減少しており、購入点数も減少している。買物に対してかなり慎重になっている様子がうかがえる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年比90%で、客単価も下落している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	単価の動き	・ガソリン価格が下がり、食品価格も変化は緩やかで落ち着いているため、客の景気に対する不安感が和らいている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期にもかかわらず販売量が伸びない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の配車量は相変わらず少ない。中古車の需要はあるが、在庫不足である。

□	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注生産をしており、今月の生産量は決まっている。新たな受注を確保しなければならない状況である。
□	その他専門店 〔白衣・ユニ フォーム〕(経 営者)	販売量の動き	・年々売上が下がっており、特に冬場の売上の減少が顕著である。今はインナーが高機能で真冬でも軽防寒で済むため、重防寒は全く売れなくなっている。それ以外に売れる商品もないため、冬場の売上は特に厳しくなっている。
□	その他専門店 〔靴〕(経営 者)	販売量の動き	・記録的な豪雪の影響により買物客の減少が続いているが、長靴の需要が非常に多く、入荷したら即完売の状態が続いている。
□	その他小売 〔ショッピング センター〕(統 括)	来客数の動き	・売上は前年比104%、来客数は同97%となっている。今月もやや厳しい立ち上がりであったが、バレンタインデー商戦、2月13日から利用が始まった鉄道会社の特別企画乗車券の影響により、若年層を中心に好調な動きが見られる。
□	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・来客数が前年比95~98%で推移している。
□	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・来客数が少ない状況に変化はない。
□	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・多少手控え感は見られるが、可もなく不可もない月である。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・中国の問題があり旧正月は今一つだったが、他国からのインバウンドが増えている。
□	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・販売量は前年並みで推移している。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・道路に雪が残っているため、買物や通院で利用する人が多い。
□	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
□	通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・販売量の動きに変化はみられない。
□	観光名所(職 員)	来客数の動き	・春節のためか台湾からのインバウンドの売上が例年以上に多い。しかし、国内客の売上は不調である。
□	遊園地(経営 者)	それ以外	・冬期休園をしているが、学校団体の問合せや予約状況に変化はない。
□	美容室(経営 者)	来客数の動き	・来客数は前年比95~97%で推移を続けている。来店サイクルに変化はみられない。
□	美容室(経営 者)	来客数の動き	・来客数は3か月前から横ばいで推移している。
□	その他サービス 〔寮管理〕(管 理人)	お客様の様子	・ガソリン価格などをみても物価高は変わらない。実質賃金が上がり、物価も安くならない限り、景気は良くならない。
□	その他住宅〔リ フォーム〕(従 業員)	販売量の動き	・コンロ、給湯器の交換や窓の断熱工事は増えているが、金額の大きな増改築、塗装工事は先送りになっている。余計な支出を抑える意識は変わらない。
▲	商店街(代表 者)	販売量の動き	・年末年始の需要もなくなった。一方で、サイバー攻撃の影響を受けている。
▲	一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	来客数の動き	・数十年営業してきたが、来客数が過去最低を更新し続けている。
▲	一般小売店 〔酒〕(経営 者)	お客様の様子	・今月は大きなイベントが開催され、県外からも多くの来訪者があったが、その期間以外は例年以上に人が動いていない。大雪の影響により、除雪費や暖房費等の負担がかなり大きい。消費マインドは著しく低くなっている。客先の飲食店では、暖房費や人件費を考慮し、予約がない日は臨時休業したり、定休日の翌日も休業日にしたりという対策を講じている。
▲	百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・大雪により来客数が減少している。
▲	コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・来客数の減少を単価でカバーする状況が続いている。販売量は前年並みをどうにか確保している。降雪も落ち着き、土建関係の動きが停滞した影響が大きい。

▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・例年と比べ気温が低い日が多いため、来客数が例年より少ない。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて来客数が減少している。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・例年2月は、3月の卒業式や4月の入学、入社、転勤の準備をする人でにぎわう。しかし、今年は来客数が少なく非常に苦戦している。
▲	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・テレビや冷蔵庫、洗濯機などの新製品が発売になり、こだわりを持った客が購入しているため、商品単価は決算セールで下がりがちな時期にしてはやや高い状態である。しかし、新生活需要での来客数が減っていることに加え、季節商材の処分が進まず、来客数、販売量共に3か月前と比べて減少している。景気はやや悪くなっている。
▲	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	単価の動き	・資材価格の高騰により、マンションや戸建て住宅の価格上昇や大型建築物の建築先送りがみられる。今より安くはならないと考える人もいるため、建物も一定程度は売れているが、家具や家電の買換えは控える人が多い。
▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・販売不振が続いている。売上金額はある程度確保できているものの、商品の動きが鈍化傾向にある。また、様々な業種が次々と値上げしているため、消費者の間でアルコール飲料等の嗜好品の優先度が低くなっているようにみえる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・暫定税率廃止に伴いガソリンの販売価格が低下したものの、月の後半には原油・為替相場の変動により仕切り価格が値上がりし、変化の多い月になっている。気温も高めに推移し、灯油の販売量も減少している。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・第2週までは予約が多かったが、第3週以降はかなり少なくなっている。
▲	通信会社（経営者）	お客様の様子	・大雪の影響により道路事情が悪化し、新規加入者の獲得・契約につなげる営業活動ができなかった。また、想定以上の積雪により設備の障害も発生し、障害対応工事などを連日続けており、費用負担が増えている。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・サービスの見直し、解約が増えている。
▲	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数は目標値に対し、3か月前は108%だったが、今月は93.8%と下向いている。
▲	競艇場（職員）	単価の動き	・来客数は落ち込んでいないものの、客単価は減り続けている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・災害級の豪雪により移動が困難となり、壊滅的な状況となっている。
×	一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・大雪の影響による景気の停滞が続いている。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・衆議院選挙の期間にテレビなどで報道されたことで物価高の認識が浸透し、節約志向が更に強くなっている。
×	コンビニ（経営者）	それ以外	・最低賃金上げと除雪代による経費負担の増加に加え、大雪の影響により来客数が減少している。経営的にも3か月連続赤字となっており、非常に厳しい状況である。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候が悪く雪が多いため、外出を控える人が多い。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は特に平日の来店がこれまで以上に少なくなっており、客が全くいない日もある。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数は、法人や団体の客は変わらないものの、個人客は依然減少傾向にある。
×	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・官公庁の入札において、予算が確保できないため発注の見送りや中止が出ている。そのため、受注業者が受注量や売上を確保するために低価格で応札している状況が顕在化している。
企業	◎	—	—

動向 関連 (東北)	○	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・客先からの引き合いは増加し、確定受注が増えている。一部事業の動きが良いため、全体の数字も上がっている。
	○	広告代理店（経 営者）	取引先の様子	・従来の広告ニーズではない企業広告、採用広告のニーズが高まっており、ビジネスチャンスが広がっている。
	○	経営コンサルタ ント	それ以外	・新政権の積極財政姿勢が消費マインドにプラスに働いている印象を受ける。
	○	その他企業〔協 同組合〕（職 員）	受注量や販売量 の動き	・製造業においては、現状は原材料の入手難や価格高騰で厳しきはあるものの、先行きの受注見込みには明るさがみえ始めている。
	□	農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・米価は、新米流通後もそれほど下落せずに推移している。
	□	農林水産業（従 業者）	それ以外	・米の価格が高止まりしている。
	□	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・2月から商品の一部を値上げしている。季節限定の商品も動きは余り良くない。鉄道会社の特別企画乗車券の影響により駅近隣の店舗は数字がよいが、全体ではマイナスとなっている。
	□	食料品製造業 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量の前年割れが続いており、やや悪い状況に変化はない。
	□	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・春節や特別企画乗車券の効果もあり、駅周辺の店舗は好調に推移している。しかし、郊外店は来客数や売上において平日と土日の差が大きく、週末で稼いでいる状況である。
	□	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・美術展や観光振興キャンペーン、自治体の周年イベントなど各種イベントは多いが、仕事量の増加はみられない。
	□	金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・年度末の在庫調整が続いており、受注量は落ち込んだままである。
	□	電気機械器具製 造業（総務担 当）	取引先の様子	・秋から冬にかけての状況と余り変わらない。特段の積み上げ要素がない。
	□	建設業（従業 員）	受注価格や販売 価格の動き	・公共工事はほとんどないため、民間工事を主体に受注獲得に動いている。
	□	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・人手不足により受注量を増やすことができないため変わらない。
	□	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・受注量、利益共に目標を超える状況で推移している。
	□	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・顧客からの値下げ要請が続いている。
	□	金融業（広報担 当）	取引先の様子	・大雪により一部の地域で交通インフラが麻ひし、人流、物流が停滞している。小売業や宿泊・飲食・サービス業において、欠品やキャンセル等による売上減少といった影響が出たものの、景気への影響は限定的である。
	□	広告業協会（役 員）	受注量や販売量 の動き	・一過性ではあるが、衆議院選挙関連の広報により今月の広告市場は全体的に押し上げられている。しかし、広告業界の主要業種である流通、小売、エネルギー等の広告出稿は、3か月前と比較してもほぼ変わらず低調で推移している。
	□	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	それ以外	・自治体発行の商品券が配布されたが、指定の店や施設でしか使えないため食料品の購入支援にしかならず、景気への影響はないとみている。
	▲	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・印刷物は値下げ競争になっている。
▲	電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・主力のパソコン生産において、メモリやSSDの入手難が続いており、減産となっている。	
▲	輸送業（経営 者）	取引先の様子	・製造工場では、12月の地震に起因するとみられる設備トラブルの復旧、修繕に時間が掛かり、生産水準が低下している状況が続いている。	

	▲	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。製造業、建設業の業績が悪い。官公庁の決算が近いと、業績が回復する業者が増えるとみていたが、さほどでもなかった。小売業、サービス業は一定の業績を維持しているが、製造業、建設業が悪いと、全体としてはやや悪くなっている。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	受注量や販売量の動き	・官需、民需共に発注工事が低調で需要は落ち込み、厳しい状況である。
	×	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・目立った受注契約がない。
	×	不動産業（従業員）	それ以外	・不動産の在庫は供給過多にあり、価格面が需要にマッチしていない。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・来年度に向けて、客がある程度の値上げを許容してくれている。
	□	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・例年この時期は、大卒の新卒採用を実施している企業では採用活動と4月1日の新人の受入れや新人研修に向けてかなり忙しく、中途採用は後回しになりがちである。しかし、今年は飲食業や製造業を中心に中途採用が継続的に行われている。
	□	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・採用数の全体感は変わらない。未経験者や実務経験が浅い人の採用については鈍化傾向にある。
	□	求人情報誌制作会社（経営者）	雇用形態の様子	・求人広告への問合せが増えているが、季節要因によるものが目立つことから、景気回復の兆候とは考えづらい。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・年度末に向けた広告の動きが余りみられない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・掲載する求人広告がない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数の減少が続いているため、有効求人倍率は前年比では低下しているものの、直近との比較では横ばいとなっている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で減少しているが、減少の理由はいずれも各企業の業務量の減少ではない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で減少しており、求人の動きは弱い状況が続いている。
	□	学校〔専門学校〕	求人数の動き	・専門学校に対する求人が届いている。求人件数は例年並みだが、採用の早期化がうかがえる。
	▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向にあるものの、退職者の後任募集をしないケースが増加している。前年同月比でも後任募集数は10%ほど減少している。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は減少傾向にある。
	×	—	—	—